

10 内水面さけ採捕事業を実施する期間、当該内水面さけ採捕事業に使用する漁具その他の内閣総理大臣が必要と認める事項 ⑥使用予定漁具

1.漁具名 マレブ（自在鉈：じざいもり）



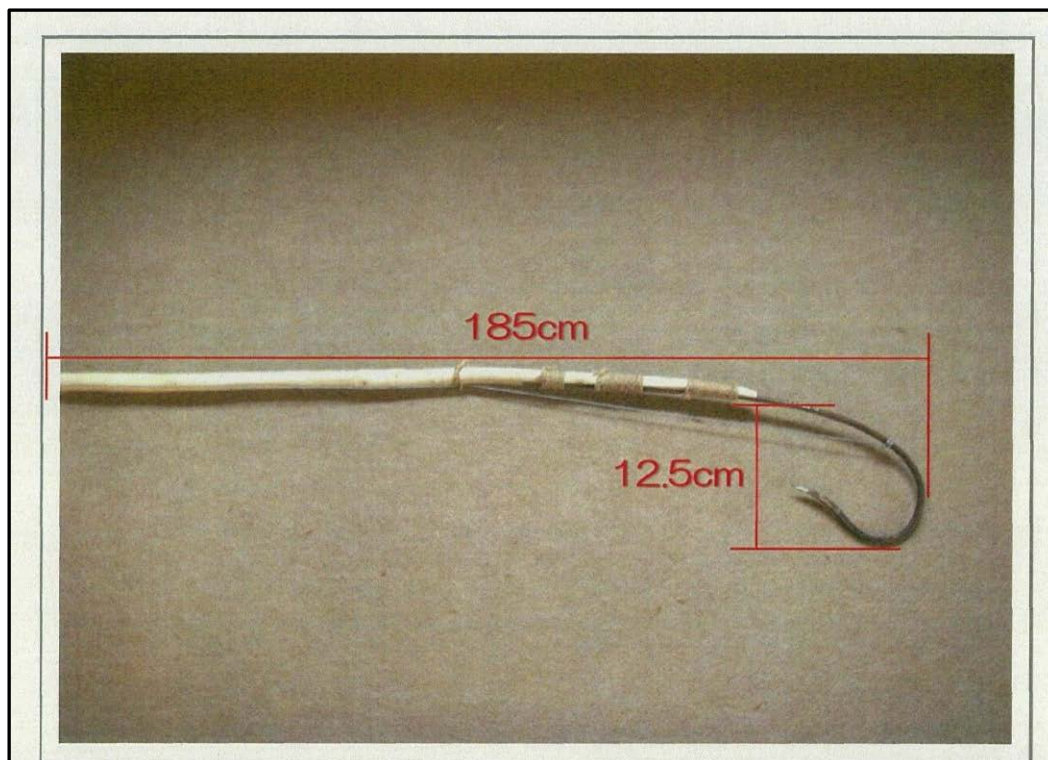
使用イメージ図



使用方。

シベ（シロザケ）を長い柄の棒で突くと鉤が胴体にささり、同時に鉤はラスパ（棒の先）の溝を離れて、シベが柄の先にぶらさがり、これを手元に引き寄せてとらえる。

2.漁具名 アブ (魚とりかぎ)



◆ 寸法

長さ	185cm
カギ幅	12.5cm
取り付ける柄	185cm (長さ)

◆ 詳細

用途	魚捕獲用具
素材	イワニ (アオダモ)
仕上げ	白木仕上げ



使用イメージ図



使用方

川の流れに沿ってかぎの先が上に向くように流します。かぎの内側には棒から手元まで糸が引っ張ってあり、それに魚が触れると糸に手ごたえが伝わります。その時に柄をぐっと引くと、かぎにシペ (シロザケ) が引っかかります。

3. ラウオマブ (うけ)



◆ 寸法

長さ	250cm
高さ	55cm
横	40cm

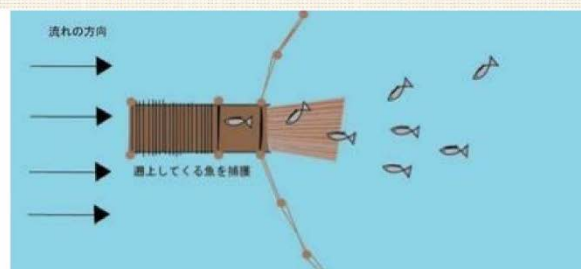
◆ 詳細

用途	魚捕獲用具
素材	スス (ヤナギ)
仕上げ	白木仕上げ



裏面

使用イメージ図



使用方

小沢の流れを石やヤナギの木などで八の字にせき止めて、その真ん中に仕掛けておき、流されないように入り口の両端に杭を打ったり、石を置いたりして固定します。このラウオマブは比較的流れのゆるやかな場所で使用され、そのときの魚の動きを見て口を川下へ向けたり、川上へ向けたりして仕掛けます。魚は芝簀のうえを滑るようにして簀の中に入り、いったん中に入ると簀のあげでじゃまされて出ることができません。中が魚でいっぱいになるとラウオマブから一尾ずつ取り出してイサパキクニ (頭叩き棒) で魚の頭をたたいて陸のほうへ放り上げておきます。